

札幌タイムス

発行所
北海道21世紀タイムス
〒060-0004
札幌市中央区北4西7-1-4
北農健保会館2階
電話(011)271-7455
fax(011)271-7565
ホームページ
www.sapporotimes.co.jp
身の回りの話題や日ごろ疑問に感じていること、意見・提案などをはがきやFAX、電子メールでお寄せください。みなさまからの情報をお待ちしています。
電子メール press@sapporotimes.co.jp

付き添い家族 支えて3周年

長期入院のため付き添う家族に、安価な滞在場所を紹介しているボランティア団体、北海道ファミリーハウス(FH)、理事長・松本脩三(北大名誉教授)が11月で、活動3周年を迎える。部屋を提供する施設はアパートやホテルなど30件、年間の利用数は5千泊以上にも上る。徐々に知名度は広まっているが、病院の近くの施設に人が集まっており、家主の協力を求めている。

1日上限2500円

東区のアパート「フー」に用意している。部屋には「ス15」は3室を、付き添いテレビやベッド、冷蔵庫が備え付けられており、

恭子さんは「病院通いの00円が上限。利用者とのつきあいが分るので、狭い部屋でも自分の家のように使ってほしい」と話す。急な入院の付き添いになると、ホテルなどを利用したり、部屋を借りたりするケースが多いが、長引くと金銭的な負担が大きくなる。もっと手軽に滞在場所を確保できないうかが、患者や家族ら

る地方では、まだまだ知られていない」とい、札幌以外の自治体の広報誌などに取り上げてもらうよう、働きかけている。また、北大病院の構内にあるFH(8室)も「約98%の利用率」(医事課)。千歳や苫小牧、道東、函館などから訪れ、14日間の制限一杯に利用する人が多い。「部屋を増やしたとしても、足りないだろう」(医務企画課)という混雑ぶりだ。

登録施設30カ所 急な入・転院も 年間利用5千泊 すぐに生活OK

急な入・転院でも、すぐに生活を始める。FHを立ち上げた。登録しているアパート

の塩谷えり子さんは「本間に情報を必要としている。

2院の施設は北電から寄贈され、昨年4月に慢性疾患を持つ子どもの家族を対象にオープンした。部屋には調理器具や食器などが備え付けられており、料金は1泊1泊2千円(光熱費含む)。

利用者は稚内や釧路のほか、道外は福島や盛岡、鹿児島などからも訪れる。FHが紹介する。施設は1〜2泊の短期から、1カ月以上の長期にわたるケースもある。今年に入ってから14組が利用した。利用者は、保証人の必要もなく、年々増え、中央区や南区の病院に通う家族も宿泊している。管理人の田辺

北大、札幌大は満室 一方、札幌大病院と北大病院には、大学が運営するFHがあるが、病院からの近さや設備の充実度から、利用頻度は高い。札幌大病院から徒歩

札幌大病院は1週間前北大病院は2週間前から受け付けているが、急な入院などへの対応は難しい状況になっている。

北海道ファミリーハウス



付き添い家族の心強い味方として徐々に知られてきたファミリーハウス。家具が一式そろった部屋もある

問い合わせ先

北海道ファミリーハウス
電話011-716-4161
札幌大病院ファミリーハウス
電話011-611-2111
北大病院ファミリーハウス
電話011-717-2808

北大、札幌大は満室 一方、札幌大病院と北大病院には、大学が運営するFHがあるが、病院からの近さや設備の充実度から、利用頻度は高い。札幌大病院から徒歩

札幌大病院は1週間前北大病院は2週間前から受け付けているが、急な入院などへの対応は難しい状況になっている。